

ベネッセアートサイト直島
20周年企画

生 SEISEI 成

Becoming- 今、ここ、私たち、そして未来へ

20th Anniversary of Benesse Art Site Naoshima



ベネッセアートサイト直島 20周年企画

直島・アート 20年の歩み 連続トーク

「直島アートのはじまり」 講師：南條史生（森美術館館長）

連続トーク第一回目は、森美術館館長の南條史生氏をお招きします。南條氏は、ベネッセハウス開館当初に美術活動を監修し、直島でのアート活動の基本姿勢となるサイトスペシフィックワークのきっかけとなった「Open Air '94 OUT OF BOUNDS ー海景のなかの現代美術展」(1994)などを企画いただきました。都会から遠く離れた瀬戸内の島に位置する美術館は、どのような場所になろうとしたのか、20年の活動の原点に迫ります。

皆さまにはぜひ広く告知いただけますようご協力をお願いいたします。

日 時 2011年11月20日(日) 14時-16時 (開場13時半)

会 場 ベネッセハウス ミュージウム レクチャールーム (香川県香川郡直島町琴弾地)

※ミュージアム入館希望者のみ鑑賞料別途

料 金 一般¥1,000 直島にお住まいの方¥500

定 員 80名(予約制) ※予約方法はウェブサイト(www.benesse-artsite.jp)をご覧ください。

主 催 株式会社ベネッセホールディングス、財団法人 直島福武美術館財団



南條史生 NANJO Fumio

1949年東京生まれ。森美術館館長。慶應義塾大学経済学部、文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金等を経て、2002年より森美術館副館長、2006年11月より現職。過去にヴェニスビエンナーレ日本館(1997)及び台北ビエンナーレ(1998)コミッショナー、ターナープライズ審査委員(ロンドン・1998)、アジアパシフィック・トリエンナーレコ・キュレーター(プリズベン・1999)、ハノーバー国際博覧会日本館展示専門家(2000)、横浜トリエンナーレ(2001)、シンガポールビエンナーレ(2006及び2008)のアートディレクター等をつとめる。ベネッセコーポレーションとの関わりでは、「OUT OF BOUNDSー海景のなかの現代美術展」(直島・1994)、「トランスカルチャー展」(ヴェニス/直島・1995)がある。慶應義塾大学非常勤講師。近著として「疾走するアジアー現代美術の今を見る〜」(美術年鑑社、2010年)。

直島・アート 20年の歩み連続トーク

直島でのアート活動に深く関わり、ご尽力いただいたキュレーターやアーティストをお招きし、直島のアートの歴史を振り返るトークシリーズです。直島の南側の自然を舞台にした作品から始まり、その後生活の場へと展開していった20年の活動の変遷を辿り、プロジェクトの本質に迫ります。

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦、小谷、玉川

〒761-3110 香川県香川郡直島町850
E-mail press@fukutake-artmuseum.jpTel 087-892-2550 Fax 087-892-4466
<http://www.benesse-artsite.jp/>Benesse
Art Site
Naoshima

ベネッセアートサイト直島
20周年企画

生 SEISEI 成

Becoming- 今、ここ、私たち、そして未来へ

20th Anniversary of Benesse Art Site Naoshima



ベネッセアートサイト直島 20周年企画

直島・アート 20年の歩み 連続トーク

「直島でのアートの変遷」講師：大竹伸朗（美術家） 聞き手：いしいしんじ（作家）

美術家の大竹伸朗氏と、聞き手に作家のいしいしんじ氏をお招きし、直島の大竹氏の作品にまつわる様々なエピソードを伺います。直島の南側のシーサイドに位置する《シップヤード・ワークス》(1994) から、島の人の生活の場へと展開した《落合商店》(2001) や家プロジェクト「はいしや」《舌上夢／ボッコン覗》(2006)、実際に入浴できる機能をもった作品、《直島銭湯「I♥湯」》(2009) など、今日の直島でのアート活動を語るうえで不可欠な大竹氏の作品を通して、ベネッセアートサイト直島の活動方針の変遷を辿ります。

皆さまにはぜひ広く告知いただけますようご協力をお願いいたします。

日時 2011年12月11日（日） 14時-16時（開場13時半）

会場 ベネッセハウス ミュージウム レクチャールーム（香川県香川郡直島町琴弾地）

※ミュージアム入館希望者のみ鑑賞料別途

料金 一般¥1,000 直島にお住まいの方¥500

定員 80名（予約制） ※予約方法はウェブサイト（www.benesse-artsite.jp）をご覧ください。

主催 株式会社ベネッセホールディングス、財団法人 直島福武美術館財団



大竹伸朗 OHTAKE Shinro

1955年東京生まれ。82年初個展以降国内外の展覧会に参加。「大竹伸朗 全景 1955-2006」展（東京都現代美術館・2006）、「路上のニュー宇宙」展（福岡市美術館、広島市現代美術館・2007）、「#65」展（タケ・ニナガワ・ギャラリー、東京・2010）、第8回光州ビエンナーレ（韓国・2010）。文芸誌「新潮」にエッセイ「見えない音、聴こえない絵」（新潮社）、「ART iT」（web）に夢日記「夢宙」を連載中、近刊に「NOTES 1985-1987」（JVD）。



いしいしんじ ISHII Shinji

1966年大阪生まれ。現在京都在住。近著に、まぼろしの四国巡りを語った小説「四とそれ以上の国」（文藝春秋）、直島はじめさまざまな土地との縁を書きつづったエッセイ「遠い足の話」（新潮社）がある。ほかに小説「ぶらんこ乗り」「トリツカレ男」「ポーの話」（以上新潮文庫）「みずうみ」（河出書房新社）など、エッセイ「熊にみえて熊じゃない」（マガジンハウス）、「人生を救え！」（町田康共著・角川文庫）など多数。

直島・アート 20年の歩み連続トーク

直島でのアート活動に深く関わり、ご尽力いただいたキュレーターやアーティストをお招きし、直島のアートの歴史を振り返るトークシリーズです。直島の南側の自然を舞台にした作品から始まり、その後生活の場へと展開していった20年の活動の変遷を辿り、プロジェクトの本質に迫ります。

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦、小谷、玉川

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466
<http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse
Art Site
Naoshima

FAX 返信先:087-892-4466

ご取材希望の方は、下記ご記入の上、FAXにてご返信ください。

直島・アート 20 年の歩み連続トーク 取材申込書

※ご取材予定のイベントにチェックをお願いいたします。

- 「直島アートのはじまり」 講師:南條史生
 「直島でのアートの変遷」 講師 大竹伸朗 (美術家)、聞き手 いしいしんじ (作家)

お名前 :	(参加人数 人)
媒体名 :	
ご所属 :	
電話 :	FAX :
E-mail :	
フェリーご乗船の港 :	
<input type="checkbox"/> 岡山方面(宇野港)より	<input type="checkbox"/> 高松方面より <input type="checkbox"/> 直島より <input type="checkbox"/> その他()

【個人情報の利用目的について】

ご記入いただいた個人情報は、直島福武美術館財団が実施するイベントの実施およびそれに関連する連絡のために利用するほか、直島福武美術館財団プレスリリースを当財団からご案内する際に利用することがあります。上記を確認の上、ご承諾いただける方はご記入ください。

- このリリースに関する情報をご掲載いただける場合は、お手数ですが、下記担当者までご一報いただけますと幸いです。

Benesse Art Site Naoshima PRESS RELEASE

【取材に関するお問い合わせ】

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦、小谷、玉川

TEL: 087-892-2550 FAX:087-892-4466

mail: press@fukutake-artmuseum.jp HP: www.benesse-artsite.jp

(取材申し込み専用ページ: <http://www.benesse-artsite.jp/contact/press.html>)